

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	三次市立甲奴小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 朝食の摂取率は高いが、その内容に課題のある家庭がある。
- 正しい食事のマナー（箸の持ち方など）が定着していない児童がいる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 食教育目標
食事や自らの健康に関心をもち、進んで望ましい生活習慣を身につけようとする児童を育てる
- 学校自己評価表・指標
朝食・睡眠に関するアンケートで肯定的に評価する児童の割合 目標値：80%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 朝食の喫食率と内容向上のための取組

○学級における指導

学級担任と連携し、朝食の大切さや役割、栄養バランスのとれた朝食の内容について理解する授業を実施した。より効果が上がるように、夏休み直前の時期や保護者の参加がある食育参観日に実施するなどした。

○保護者への啓発

今年度も食育参観日に保護者を対象とした食育ミニ懇話会を実施し、朝食の役割や本校児童の実態などについて話をした。また、「ひろしま給食100万食プロジェクト」より作成された「朝食リーフレット」を活用し、数品を試作して保護者へ提供した。保護者は試食しながら、各家庭での朝食の内容や児童の様子、簡単な朝食メニューなどについて交流した。



【取組 2】（テーマ） 教科等と食育が連携した取組

○外国語活動との連携

4年生外国語活動「What do you want? (ほしいものは何かな?)」の単位では、バランスのよい給食メニューを作るという目標を達成するために、授業の中で赤・黄・緑のグループ分けを取り入れたり、学級活動の時間を活用して栄養バランスについての学習を実施したりした。授業後には、児童が考案した給食のメニュー（小童っこカレー、甲奴っこシチュー等）を給食で提供し、町内の小・中



学校の児童生徒全員で味わった。また、給食時に放送する原稿の最後に「Today's word」というコーナーを

設け、給食に使用されている食品や味などの英単語を紹介し、英語に親しむとともに食材や献立に興味を持たせる機会を設けた。

【取組3】(テーマ) 食事マナーの向上及び定着のための取組

昨年に引き続き、養護教諭と栄養教諭による給食時間中のマナー指導を実施した。正しい箸の持ち方や使い方、魚の食べ方、食器の扱い方などについて指導した。また、マナーよく食べる実践の場として縦割り班給食を学期に1回設定し、個別の状況把握や実践的指導の場とした。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○夏休み親子クッキング教室の開催

三次市教育委員会と連携し、三次市内の児童7名と保護者6名の参加のもと、ひろしま給食メニューの調理及び試食を行った。市内栄養教諭及び学校栄養職員がひろしま給食の概要説明、レシピ紹介、食材調達などを分担して実施した。地場産物を活用した学校給食の取組やひろしま給食の啓発、保護者との意見交流など有意義な教室となった。



○J A三次女性部との調理講習会

今年度もJ A三次女性部と連携し、調理講習会を開催した。メニューの中にひろしま給食を取り入れ、一緒に調理・試食を行い、感想等を交流した。ひろしま給食を周知し、学校給食の理解を深めてもらうよい機会となった。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 食育ミニ懇話会による保護者同士の交流から、家庭では朝食を準備しているが、時間がなかったり食欲がなかったりして児童が食べられる状態になっていないことが明らかとなった。
- 学習内容と給食献立の関連を図ることにより、児童の食や給食に対する興味・関心の高まりをより感じられるようになった。

【課題】

- 朝食をしっかりとるために、児童の正しい生活リズムの定着が必要である。
- 食事のマナーでは、箸の持ち方に個人差が大きく、課題が残る。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 充実した朝食の内容になるよう、引き続き食育だよりや参観日等を活用して情報発信を行う。
- 正しい生活リズム定着のため、睡眠や運動等と関連づけた朝食指導を行う。